

現代アートから ご当地キャラまで
「顔」の表現力に卓越したアーティスト

安田 全利

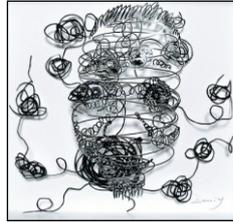
Yasuda Zenri

- ◆現代アート作家
- ◆ご当地キャラ作家・京都の「和み柴っこ」作家
- ◆オリジナル柴犬キャラの雑貨店「和んこ堂」経営
- ◆アートと笑いを融合したライブパフォーマンス

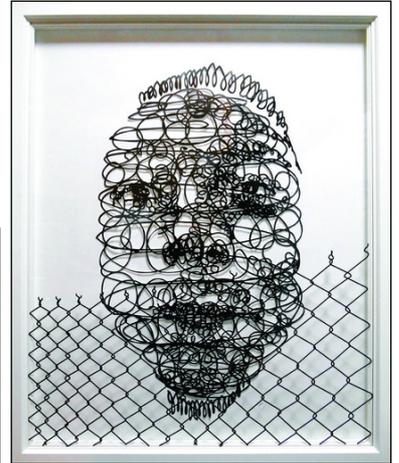


【3D切り絵の作品「ネットフェイス」】

3D切り絵とは平面の黒い紙をナイフで曲線を描くように切り、立体的に仕上げていくのが特徴。安田さんは用途の異なる2つの空間を分けるネットフェンス(網状の柵)をイメージした線と構造で、インターネットの仮想世界と現実の世界を使い分ける現代人の複雑な顔を「ネットフェイス」として表現。顔の外にまで溢れ出すストレスや溜息をくるくるした塊で描く作品「溜」、ネットフェイスが行く手をネットフェンスに阻まれて停留しているうちに老化(酸化)したことを暗示する「錆」など、ユーモラスな感性と独創的な技法が高い評価を獲得。



【作品名】
「錆」(右)▶
TDW ART
FAIR 2013
審査員特別
賞受賞
◀「溜」(左)



1966年 京都生まれ。1990年 京都精華大学美術学部 造形学科 日本画科卒業。
デザイン事務所をやっていた当時、趣味ではじめた愛犬の黒柴犬をキャラクターにして作った雑貨が評判を呼び、本格的に柴犬のキャラクター作家に転身。オリジナル柴犬キャラクターを「和み柴っこ」と名付け、京都に柴犬キャラの雑貨店「和んこ堂」を開業したところ、全国から柴犬好きの飼い主や観光客が訪れ、一躍有名店となる。
経営者・キャラ作家として多忙を極める中、現代アート作家として、1枚の紙をネットフェンスの針金のように細長くカットして人間の「顔」の表情を創る3D切り絵の作品を制作。国内外のアートフェアにも精力的に参加し、数々の賞を受賞。
現代人の生きづらさや感情を人の「顔」で表現した切り絵、現代人の心を癒す愛らしい柴犬の「顔」、どちらも卓越した表現力で現代人の心を捉えて離さない作品である。

【アートと笑いを融合したライブパフォーマンスも！】

ご当地キャラ作家として安田さんが行っているのは、京都のご当地キャラ「和み柴っこ」の雑貨のデザインやライブパフォーマンス。ステージ等では柴っこを弟子に、お客様のペットの似顔絵を巨大キャンパスに速攻で描くなど、アートと笑いが融合した楽しいパフォーマンスが人気。

合言葉は
こんにちワンコ！



【WORKS】

- ☆ 切り絵の作品、切り絵アートのパフォーマンス、すぐに描けるペットの似顔絵 etc.
- ☆ ご当地キャラの作り方、かわいいお手軽雑貨の作り方、ライブパフォーマンス etc.

取材・お仕事のご依頼は、ホワイトナイト(株)久保まで TEL: 03-5414-2831